

GLOCAL SCHOOL

～未来にグローバルの種をまこう～

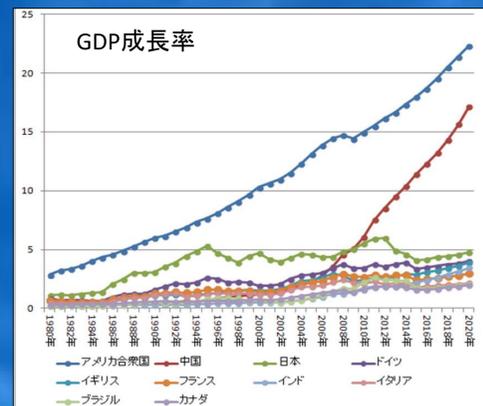
BACK GROUD

グローバル化が急速に進展する中、日本のGDPの成長率は先進国の中でも伸び率が低く、国内の人口が減少傾向にあるためこれからの国内市場はさらに縮小することが予想されている。また、海外の人が国際交流の場で自国の魅力を進んで話せる中、日本人は多くの方が詳しく語ることはできない。すなわち発信する能力が低いのである。これは海外の人からも指摘されることであり、高い技術力や魅力を持っていても、それを相手に伝える発信力がないとせっかくの技術も魅力も意味をなさない。

日本がこれから経済成長するには、自分たちのローカルな魅力やそのアイデンティティを知り、自分たちとは違う価値観を持った人々にその魅力を効果的に、積極的に発信する能力をつける必要がある。

OUR GOAL

グローバル化が進む競争の激しい現代においてグローバルの側面とローカルの側面の双方から客観的に事象を考察できるグローバル人材を育てる。



EDUCATIONAI POLICY

①世界だけでなく地域にルーツを持つ**グローバル**な力を伸ばす

②世界の舞台で勝負できる**グローバル**な力を伸ばす

③考えて発信する力を身に着けさせる

BUSINESS PLAN

- ・ターゲットは小学生
- ・地域ごとに塾を開設
- ・地域について学ぶ**ローカル**コース、国際人になるためのスキルを身に着ける**グローバル**コースの両方を学ぶ
- ・収益は塾生の月謝から賄う。
- ・講師は各地域の様々なバックグラウンドから採用
- ・年に一回全国の塾生を集め交流会を行い、一年の成果発表を行う

WHY ELEMENTARY SCHOOL STUDENT

- ・中高生に比べ部活や塾等の束縛が少なく時間がある
- ・好奇心旺盛かつ多感な時期に地域のことや、世界の諸事情について知り考察する力を身に着けられる
- ・世界に対して壁を作らずに情報を発信できる
- ・進路選択において選択の幅が広がる

SPECIFIC CONTENTS

(ローカル)

- ・企業訪問
- ・農業体験
- ・各地域の教養講座
- ・おもてなし講座

(グローバル)

- ・ディスカッション研修
- ・ディベート研修
- ・課題研究、プレゼン講座
- ・海外研修
- ・国際交流イベント

グループ9
多和田萌花
鈴木希実子
妹尾知哉
稲田紘子
石津謙太